

事業評価書

補助事業名	福山区公園照明設備改修工事					
補助事業者名	宜野座村長					
実施場所	宜野座村字惣慶地内					
補助事業の成果の目標	<p style="text-align: center;">当該グラウンドについては、照明施設の経年劣化に伴う危険箇所が発生している為、照明を改修することにより、近隣住民が夜間時においてもスポーツやレクリエーションに勤しむことができ、健康の増進や維持に繋がる。また、各種イベント等の開催も期待できる。</p>					
補助事業の内容	改修工事 照明設備 一式					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 18,295,000	円	円	円	円 18,295,000
	交付金額	18,295,000				18,295,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことで、経年劣化した照明灯を改修する事で安全が確保された。 また、地域住民へアンケートを実施したところ利便性が良くなったとの回答が寄せられており、近隣住民が夜間時においてもスポーツやレクリエーションに勤しむことができ、健康の増進や維持に繋がるための環境が整えられたと評価できる。</p>					
	<p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ掲載 2) 工事期間中の工事看板へ表示 3) 村広報誌へ令和3年3月掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	照明設備の維持管理を適正におこなっていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	宜野座村中央公民館ほか1件 消防設備改修工事					
補 助 事 業 者 名	宜野座村長					
実 施 場 所	宜野座村字宜野座および宜野座村字惣慶 地内					
補助事業の成果の目標	<p>宜野座村の災害時における一時避難場所に指定されている中央公民館(1,927㎡)および惣慶地区公民館(1,884㎡)には、消火栓及び火災が発生した際、消火栓に水を供給するポンプを稼働させる発電設備が設置されています。</p> <p>現在、中央公民館および惣慶地区公民館の消防設備は、老朽化が進んでいるため、本事業を活用し、既存の設備を改修することで、火災時には迅速な消火活動の対応が可能となります。</p> <p>また、中央公民館の発電機については、台風や地震等の災害において、二次防災拠点としての機能を確保するための非常用電源として活用できるように改修することで、村内の情報収集および各地区公民館や学校への避難・誘導等の対応が可能になります。</p> <p>以上のことから、本事業により、村立中央公民館および惣慶地区公民館の消防設備を改修することで、宜野座村の公共施設の安全に寄与します。</p>					
補 助 事 業 の 内 容	消防設備改修工事(中央公民館・惣慶地区公民館) 非常用発電機等 一式					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 29,700,000	円	円	円	円 29,700,000
	交付金額	23,550,000				23,550,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】</p> <p>本事業を実施した事により、火災時には迅速な消火活動の対応が可能となった。また、金武地区消防衛生組合による検査を実施し、非常時に必要な電圧及び容量が確保されていることを確認した。以上のことから、宜野座村の公共施設の安全に寄与するものと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 村ホームページへ掲載(令和2年3月 掲載) 2) 工事期間中の工事看板へ表示 					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切に宜野座村・惣慶区と連携しつつ、消防設備の管理を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	松田地区クリーンセンター非常用発電機購入					
補助事業者名	宜野座村長					
実施場所	宜野座村字松田地内					
補助事業の成果の目標	<p>宜野座村の松田地区の汚水を処理するクリーンセンターには停電時でも汚水処理に必要な機器類を稼働できるよう非常用発電機が設置されています。</p> <p>現在、当該発電機は老朽化が進んでおり、不具合・故障等が頻繁に発生しているため、本事業を活用し、既存の発電機を更新する事により、自然災害等による停電が発生した場合でも、安定的に処理施設の機能を維持する事が可能となり、汚水の流出防止など環境保全を図ることができます。</p>					
補助事業の内容	物品購入 非常用発電機購入 1基					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 13,200,000	円	円	円	円 13,200,000
	交付金額	13,200,000				13,200,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業により、老朽化した非常用発電機の更新整備を行い自然災害等による停電時においても安定的に処理施設の機能を維持し、汚水流出防止などの環境保全を図った。 非常用発電機の更新整備後1年間の稼働状況については、点検報告書において、故障・不具合件数は0件であり、良好に稼働できている事が確認できた。以上の事から、環境保全につながったと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知した。 1) 村ホームページへ掲載 2) 村広報誌(9月号)へ掲載</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切に非常用発電機の管理を行う。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	村道待口線ほか1件改修工事						
補助事業者名	宜野座村長						
実施場所	宜野座村字惣慶地内						
補助事業の成果の目標	<p>村道待口線ほか1件は、舗装整備後20年以上経過しており老朽化によるアスファルトのひび割れや側溝の破損が激しく、地域住民の通行に支障を来している状況である。</p> <p>このため、本事業により当該道路を改修することにより、道路環境の向上を図り、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。</p>						
補助事業の内容	実施設計一式 L=664.3m W=6.0m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	事業費	円 9,652,300	円 8,640,000	円 20,704,440	円 44,056,700	円 18,038,100	円 101,091,540
	交付金額	8,205,000	8,506,000	18,997,000	41,550,000	18,000,000	95,258,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより舗装及び側溝の整備ができ、地域住民が安全に利用できる環境を整える事が出来た。 また、地域住民へアンケートを実施したところ、車両通行時の利便性、歩行時の利便性が良くなったとの回答が寄せられており、地域住民が安全に利用できる環境が整えられたと評価できる。</p>						
	<p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村ホームページへ令和3年4月掲載 2) 工事期間中の工事看板へ表示 3) 村広報誌へ令和3年3月掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解と協力を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	宜野座村社会体育施設物品購入事業					
補助事業者名	宜野座村長					
実施場所	宜野座村宜野座地内					
補助事業の成果の目標	<p>宜野座村総合体育館は昭和59年に完成し、村民の健康増進や体力、スポーツ技術の向上に寄与、また村まつりやスポーツ講習会、村内保育園の運動会等イベント会場としても親しまれてきました。平成27年にはリニューアル工事が施工され、村内外の球技大会や県外からのスポーツ合宿誘致を行っています。</p> <p>その中、大会等に使われる設備は更新しているものの、レクリエーションを行う際に必要なテーブルとイスは経年劣化による老朽化が進んでいる状態であり、利用するには村内各施設やリース業者から借用している状態です。</p> <p>ニーズの高いこの施設で必要な備品を確保し、社会体育施設としての機能を向上させ、利活用促進に繋がりたいと考えています。</p>					
補助事業の内容	会議用イス300脚 会議用テーブル100台					
補助事業の始期及び終期	令和2年度					
事業費及び交付金額		令和2年度				計
	事業費	円 4,642,000	円	円	円	円 4,642,000
	交付金額	4,642,000				4,642,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業において物品の整備をしたことにより、当施設の利活用促進を図る環境を整えることができた。整備後1年間の活用状況を確認したところ、5つの大会の合計で、イス約480脚、テーブル約180台の活用があった。コロナ禍により施設の休館期間があったことからイベント・大会等の開催数が減ったが、利用者が必要とする数の物品を貸し出しすることができており、施設の利活用促進に繋がっていると評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 1) 村広報誌へ掲載(4月号) 2) 会議用イス及び会議用テーブルに「令和2年度 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業」とシールを貼り付け</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、物品の点検等維持管理につとめ継続的に良質な利用サービスを提供していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					